和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第9号
2020年9月8日

２年普通科総合的な探究の時間 中間発表会（１）

８月６日（木）午前、２学年「総合的な探究の時間」で実施しているＳＧ課題研究Ⅱの中間発表会が行われました。

普段は班単位で実施している探究活動ですが、この日は同じ分野に所属する約５０人が一つの会場に集まり、授業クラスを超えたグループワークを実施しました。

各会場には大学教授や県教育委員会指導主事をお迎えし、それぞれの班の活動について貴重な指導助言をいただくことができました。

移民難民　班別テーマ一覧

A01	食文化の違いで困ることを解決する
A02	We are the world
A03	外国人にやさしい町づくり
A04	難民の受け入れの拡大
B01	移民難民に対する教育
B02	難民のうけいれ
B03	難民について日本の人々に教える。
B04	難民の生活
B05	移民と難民の健康

移民難民分野は翔栄館で、和歌山大学の東悦子先生に指導助言をいただきながら発表会を進めました。

生徒たちは緊張しながらも、自分たちの班の取組について発表し合いました。聞き手も真剣に耳を傾け、質問する様子がうかがえました。他班と交流し、発表を聞き合うことで、刺激のある時間となりました。

生徒の学び

他者を意識することが大切である

２年１組　福島弥由菜

自分の発表を振り返ると、調べた情報を一方的に話し続ける形になってしまい、初めて私の発表を聴く人に対する配慮が足りなかったと感じました。難しい言葉や専門用語は伝わりにくいということを実感し、分かりやすい身近なワードを取り入れたり、身振り手振りで表してみたり、聞く人にどのような言い回しをしたら伝わるか、どういう工夫をすべきかを考える必要があると学びました。